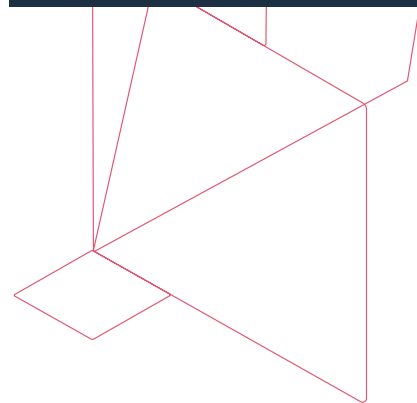


# クラウドとオンプレミス環境の 完全なデータ保護

オンプレミスとクラウド環境のデータ保護の戦略は完全ですか？ その戦略は単なるあなたの現実かもしれません。クラウドとデジタルトランスフォーメーションの構想に合わせて、データ保護戦略を見直す時です。



今日の IT リーダーが抱える課題	Commvaultプラットフォームで解決
オンプレミスとクラウドで、またはクラウド間でストレージ プラットフォームが管理できない	ひとつのプラットフォームでクラウドとオンプレミスのインフラストラクチャをまとめて保護します。
データの保存場所が把握できない	包括的レポートで、複数のストレージ ロケーションをひとつのダッシュボードにまとめて表示します。
ますます広がるデータ要件と規制に対処するのが困難	ひとつのツールでデータのライフサイクルを管理し、データのバックアップから、ディザスタ リカバリ、管理、e ディスカバリまで対応します。
さまざまなデータ ニーズを管理するためのポイント製品が多すぎる	ひとつのシステムでファイル、アプリケーション、データベース、ハイパーバイザー、クラウドをまとめてデータ管理します。
熟練した IT スタッフが不足している。また人員数と予算に制約がある	柔軟なオーケストレーションで、リソース プロビジョニング、ポリシー、ルーティン業務を自動化し、時間と労力を削減します。

クラウド プロバイダーは、基本的なツールとレプリケーション オプションを提供してくれます。しかし、あなたの環境は基本的ではありません。複数の場所に保管されたデータをすべて表示する機能が必要です。

### ネイティブ クラウド

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手動での移行</li> <li>• クラウドのみの管理画面</li> <li>• 重複排除なし</li> </ul>
---

### バックアップ ツール

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手動のため複雑</li> <li>• コストの急激な増加</li> <li>• 専用のゲートウェイが必要</li> <li>• 外部で重複排除</li> <li>• データ リカバリ</li> </ul>
---

### Commvault プラットフォーム

<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネイティブ クラウド統合</li> <li>• ひとつの管理画面</li> <li>• 迅速なデータ リカバリ</li> <li>• コストのコントロール</li> <li>• オンプレミスとクラウド</li> <li>• 暗号化に標準対応</li> <li>• グローバル重複排除</li> <li>• AI</li> <li>• データ ポータビリティ</li> </ul>
--





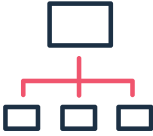

Commvaultがサポートするテクノロジーの全リストはこちらから:  
[www.commvault.com/supported-technologies](http://www.commvault.com/supported-technologies)  
 クラウド ストレージ、ハイパーバイザー、データベース、アプリケーション、ファイル システムなど

## 今日のITリーダーは広範かつ連携の深いクラウド データ保護が必要です

ハイブリッドIT環境ならCommvaultです。オンプレミスとクラウド間でデータを移動、管理、使用することのできる唯一のデータ管理プラットフォームを提供します。

Commvault ソフトウェアは次の機能を備えています。

- クラウドへのバックアップ/リカバリ
- クラウド内のバックアップ/リカバリ
- クラウドへのアプリケーションとデータの移行
- サイト内、サイト外でのディザスタリカバリ。オンプレミスベース、クラウドベースでのディザスタリカバリ
- 物理から仮想へ、仮想から仮想へ、仮想から物理へ、物理からクラウドへ、クラウドからクラウドへの移行をサポート

	
<p>クラウドへ、クラウド内で、クラウド間での効率的なデータ移行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セキュアで効率的なデータ移行のための自動化とオーケストレーション</li> <li>• オンプレミスからクラウドへ、クラウド内で、クラウドからオンプレミスへの迅速なデータ移行</li> <li>• ネイティブ ツールを超えた暗号化機能</li> <li>• データの圧縮と重複排除でコストを抑えたワークロード移行</li> </ul>	<p>ハイブリッド環境で IT アジリティを実現するデータ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ ストレージ ロケーションに包括ビューを提供 - オンプレミスのデータ センター、パブリック クラウド、プライベート クラウド</li> <li>• ハイブリッド IT環境に一貫性のあるSLA</li> <li>• 一貫性ある戦略的データ管理プラクティスによるITアジリティ</li> <li>• クラウドとオンプレミスのワークロードのポリシー制御管理</li> </ul>
	
<p>より戦略的で顧客重視のビジネスにデータを使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ハイブリッド ロケーションでの効率的なセルフサービス eDiscovery</li> <li>• オンプレミスとクラウドのストレージに動的データ インデックスの作成</li> <li>• 高性能のクエリで、メール、エンドポイント、データ センター、クラウド全体を検索</li> <li>• クラウドベースの開発/テスト データ環境を迅速に作成</li> </ul>	<p>コスト、労力、リスクを削減しながらディザスタ リカバリを自動化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プッシュボタン プロセスを使用した自動化クラウド プロビジョニングでクラウドのストレージ、データ、ポリシーをアクティベート</li> <li>• 複数のクラウド プロバイダー間のディザスタ リカバリ - ひとつのクラウドで、複数のクラウドリージョンで、パブリック クラウド間で</li> <li>• さまざまなデータ ニーズに対応する複数の異なるRTOとRPOに対応</li> </ul>



IDC: The Business Value of Commvault Software

**62%** 調査対象の Commvault 顧客の 62%が、年間の計画外ダウンタイムの短縮を報告

### 導入事例: クラウド データ保護にCommvaultを選択

Dow Jones が Commvault で AWS へ移行 [導入事例を読む](http://www.commvault.com/resources/case-study-dow-jones) >  
[www.commvault.com/resources/case-study-dow-jones](http://www.commvault.com/resources/case-study-dow-jones)

Harper Collins が Azure へのデータ移行を Commvault で管理 [導入事例を読む](http://www.commvault.com/resources/harper-collins) >  
[www.commvault.com/resources/harper-collins](http://www.commvault.com/resources/harper-collins)

**Commvault: 他の追従を許さない包括的クラウド データ保護**

Commvault のクラウド データ保護をほかの製品と比較します。

今日の IT 要求	Commvault	従来のバックアップ & リカバリ
オンプレミスとクラウド全体のデータ管理のための単一の統合プラットフォーム	★★★★	☆☆☆☆
仮想マシンやストレージをクラウドに作成する API を介したエージェントレス クラウド テクノロジーのサポート	★★★★	☆☆☆☆
IT 管理と手動タスクを削減する自動化、オーケストレーション、柔軟性	★★★★	☆☆☆☆
ポリシーの管理、コントロール、レポートの一元化	★★★★	☆☆☆☆
オンデマンドのクラウド アクセスとストレージをはじめとする包括的で柔軟なオーケストレーション	★★★★	☆☆☆☆
クラウドとオンプレミスのストレージの包括的セルフサービス検索	★★★★	☆☆☆☆
効率的なレプリケーションとソース側での重複排除	★★★★	☆☆☆☆
Azure Data Box や AWS Snowball などのツールとのシームレスな連携による大容量データのサポート	★★★★	☆☆☆☆
アプリケーション グループごとに異なる複数の RTO と RPO ティアの設定	★★★★	☆☆☆☆
パブリック クラウドとのネイティブ統合と、40 以上のクラウド ストレージ対応	★★★★	☆☆☆☆
迅速なデータ リカバリのオーケストレーション	★★★★	☆☆☆☆

IT リーダーは、現在に対しても将来に対しても準備ができていなければならない必要があります。相互連携できず、それぞれにスキルセットが必要とするポイントソリューションを使用して、本当にデータの準備ができていますか？ データ管理コマンドセンターをご使用ください。Commvault データ保護は、現在の目標も、長期の IT 目標もサポートする包括的で柔軟なプラットフォームです。未来はデータの準備次第です。

Commvault のクラウド データ保護の詳細は下記をご覧ください >  
[www.commvault.co.jp/products/solutions/cloud-data-management](http://www.commvault.co.jp/products/solutions/cloud-data-management)

Commvault プラットフォームと既存の環境を、便利な「マルチクラウド データ管理のためのチェックリスト」を使って比べてみてください。  
[www.commvault.co.jp/docs/checklist\\_a-checklist-for-multi-cloud-data-management\\_j.pdf](http://www.commvault.co.jp/docs/checklist_a-checklist-for-multi-cloud-data-management_j.pdf)